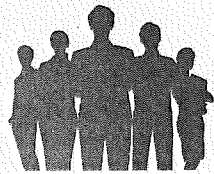


共に歩む

第11回



シヨンにて比較検討し、らかな問題や課題が生じた。今後の法整備や業界た。方式の選定基準とした場合、改善対策を行う。動作を見極めつつ販売を進め、地球温暖化の抑制

では、検出性能以外に、てその効果を確認するた。進め、地球温暖化の抑制既存の設備への取り付け、さらにはそこから1年に少なからず貢献できる容易性を考慮した。主にの検証が必要となつてしことを願っている。

冷媒漏えいする冷凍空調まう。

冷媒漏えいする冷凍空調まう。

【執筆】 研究調整官

細谷肇

今回は、高崎市の細谷 種類・内容・原因を整理え、地球温暖化を抑制す工業と群馬産業技術セン した後、それぞれの故障 ためにも検出する故障 ターで共同開発を行った について頻度・検出の容 は冷媒漏えいに絞り、故 易性・影響度の分析を 障予知システムの開発を テム「フロンハンター」 施した。故障を事前に検 実施することになった。 出ることが難しく、し 「冷媒漏えい早期検知 かも故障が分かったとき システムの開発」

【開発の背景】

冷媒漏洩早期検知システム「フロンハンター」の開発

細谷工業

も無事元了し

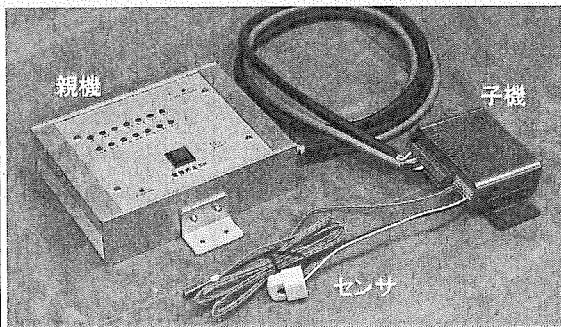
細谷工業は、スーパー マーケットやコンビニな どに設置されている冷凍

には既に深刻な状態にな 次は冷媒の漏えいを検 出する方法の開発であなものと なった。

【今後】

ここまで、

分析の結果、冷凍空調 マーケット、フレッセイ 開発した方式を組み 県やNPO法 場合、あらかじめ、冷 機を冷やすための冷媒が の協力の下、実際の店舗 込んだシステムを試作 人北関東産官 凍空調機が故障しそうな 徐々に漏えいする故障 の冷凍空調機に各種セン し、複数の実店舗に取り 学研究会、産 店舗が分れば、計画的 が、まさにこの状態であ サを取り付けて、年間を 付け、実環境での検出性 業技術センタ な業務が行え、効率化が ことが分かった。さら 通して値の変化データを 能の確認を実施した。冷 の公募型共 図れる。そこで、冷凍空 に冷媒について調べる 取得するとともに、冷媒 媒の体積は夏と冬では大 同研究など多 調機の故障を予知するシ と、二酸化炭素の100 量を増減させた場合のデ 大きく変化し、検出性能に くの補助事業 ステムを、センターとの 0倍〜1万倍も地球を温 ータも取得した。 も大きな影響を及ぼすと 10年もの歳 共同研究により開発する 暖化させてしまう物質で そのデータを元に、考 め、性能確認は年間を通 月を掛け、よ ことになった。 あることが分かった。そ えられる各種検出方法で して行うこととなる。し うやく形とす 開発ではまず、故障の ことで、業務の効率化に加 の検出性能をシミュレ かし、性能確認段階で何 ことができ



開発した「フロンハンター」